



2022年8回(通算315回)

松愛会 くらわん会 コース案内図

【実施日】 2022年8月2日(火) 18:00~

【担当】 コース担当リーダー:永井
サブリーダー:小林 旗 担当:大熊・小野田
HP担当 : 中溝 MAP担当: 徳田

【コース】 ツバメのねぐら(たそがれウォーク) 歩行距離:約4Km

①京阪宇治線・観月橋駅の観月橋南詰のガード下(集合) ⇒ ②宇治川公園 ⇒
⇒ ③ヨシ原(ねぐら観察/一次解散) ⇒ ④京阪宇治線・観月橋駅

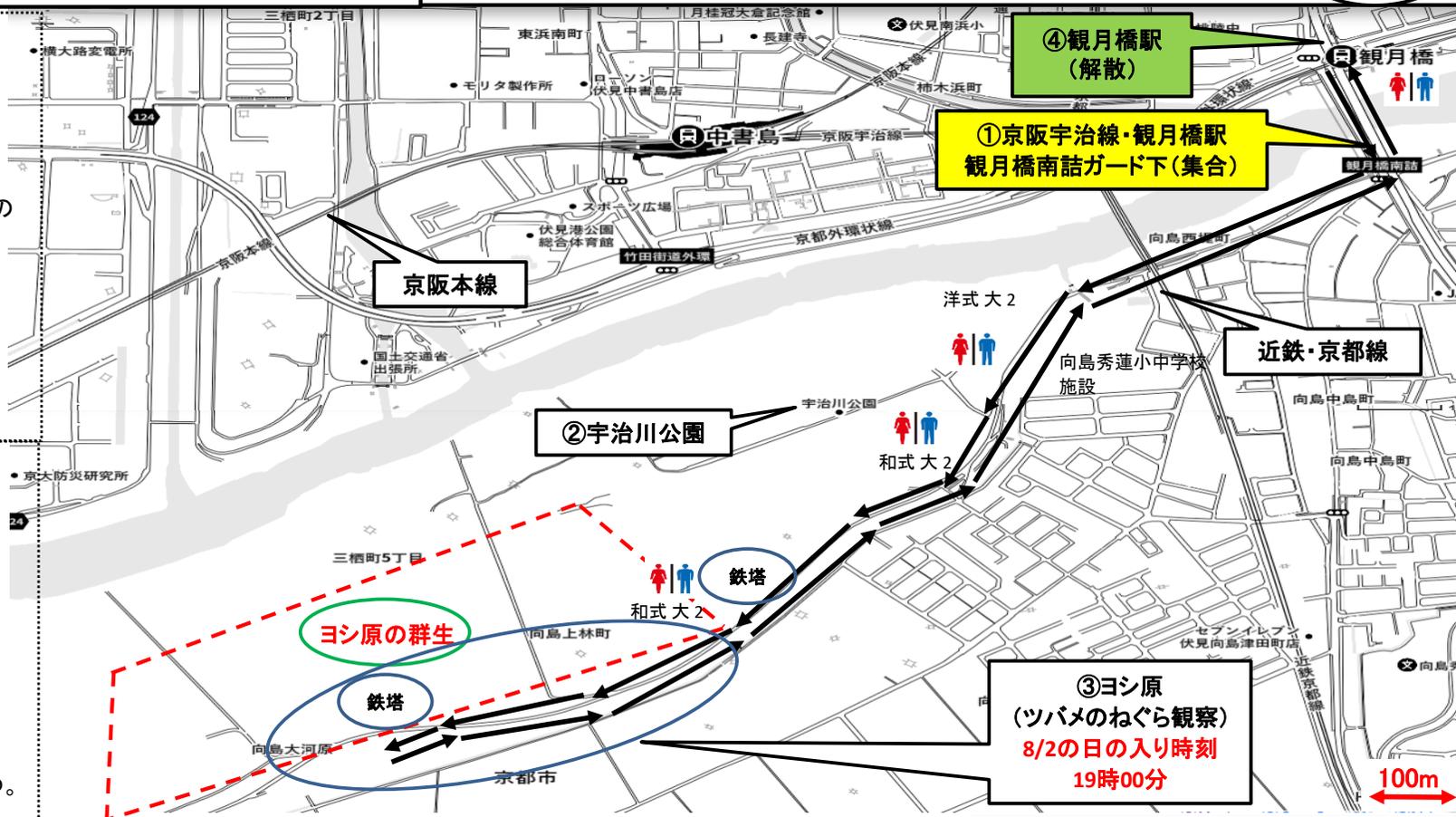
参加回数

【ツバメについて】: ウィキペディア等より

- ・分布: 北半球の広い範囲で繁殖。越冬地は台湾、フィリピン、マレー半島など。
- ・産卵期: 4~7月(主にメスが抱卵)
卵数: 3~7個、抱卵日数: 13~17日
巢内での育雛日数: 20~24日
- ・渡ってきて1回目に生まれた子を1番子、2回目の子を2番子と呼ぶ。1シーズンに2~3回ヒナをふ化します。
- ・子育ての時期は巢の周辺で夜を過ごす、ヒナが巣立つと親鳥も小鳥も巢の近くに帰ってこなく、皆で集まって眠ります(集団ねぐら)
- ・秋になると今年生まれた子ツバメと親ツバメ共に、島伝いにフィリピンやマレーシアへ帰る。

【伏見ツバメのねぐらについて】

- ・ツバメのねぐらは近畿で20ヶ所あり、ここ伏見は最大の規模。夕方になると南山城や吉野山周辺で過ごしたツバメが集まってくる。
- ・宇治川向島のねぐらは、1913年に発見された。
- ・集まってきたツバメは上空で時間を過ごし、日没後20分くらいするとヨシ原に降りてくる。
- ・伏見にはヨシ原が残されていて、ヨシの穂や葉の上に止まり夜を過ごす(蛇などから保身)
- ・ヨシ原はツバメが安全に過ごす場所であり、情報交換の場でもある。
- ・朝は日の出10~20分前に数千羽単位で飛立つ。
- ・ツバメの体重は成鳥も若鳥も8月初旬迄には17~18g、8月下旬に成長は20g、若鳥がその域に達するのは9月下旬になる。
- ・移動距離は、京都~マレーシア間で2,400kmあり体重を増やして渡りに備える。
- ・巣立ちしたヒナが成鳥になるのは20%程度である。
- ・穀物を食べず害虫を食べる益鳥として大切にされてきた。



③ヨシ原
(ツバメのねぐら観察)
8/2の日の入り時刻
19時00分

※くらわん会又はくらわん会HP
へのご感想・ご要望・ご意見
をお願いします
kurawan@gmail.com

【次回のご案内】
城南宮(歴史探訪)
日時: 9月6日(火) 10:00~
集合場所: 京阪 龍谷大前深草駅
歩行距離: 約5km
リーダー: 内田(080-3033-7263)
サブリーダー: 林(090-7489-4314)